

令和3年12月9日
浦添市美らまち推進課

経塚公園利活用連絡会（準備活動）につきまして

－ 経塚公園を利活用する方々の、活動実現と交流の場 －

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、浦添市の公園まちづくり研究会の取組につきまして、ご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

経塚公園に関しては、一昨年来、市民の皆さまや地元の事業者様などを中心に経塚公園の活用方法などについて話し合う「市民協働部会」、事業者による整備・施設運営を誘致、促進するための「公民連携部会」を開催してまいりました。

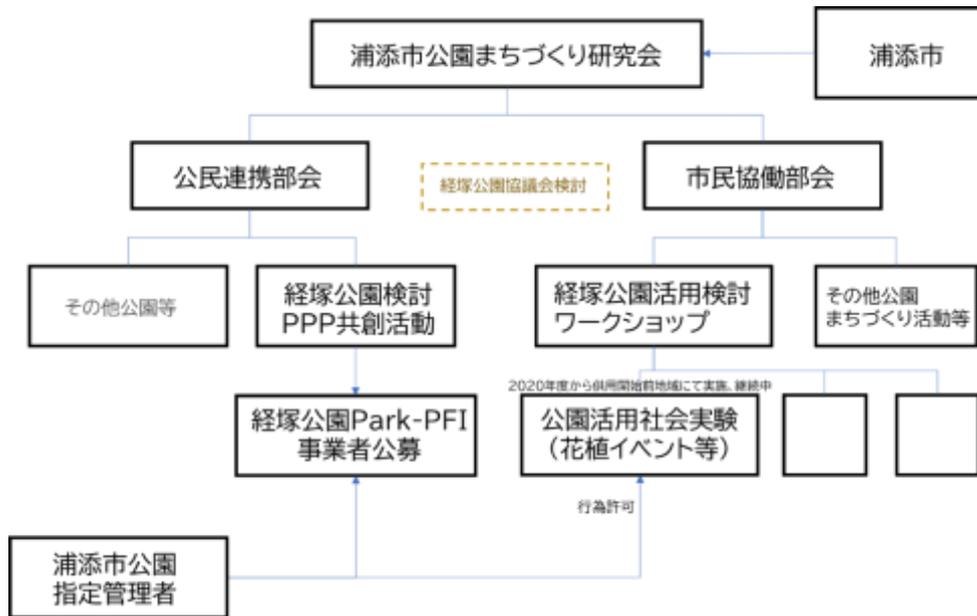
今年の12月中旬にはいよいよ民間資金を活用して、公園の一部の施設整備や運営をしていただく事業者の公募が始まり、来年には事業者が決定する予定です。経塚公園の一角には、カフェ等の飲食店や健康に関する施設等の整備が想定されるなど、沖縄都市モノレールにおける浦添第一番目の駅に隣接した公園として、活気ある地域の実現を目指すこととなります。

一方、市民や地元事業者を中心に、市民協働部会としてこれまで公園の整備や利活用方法等の話し合いを合計7回開催し、昨年度末には有志による社会実験として花植え等のイベントを開催しました。社会実験を行うことで市民主体の経塚公園の活用、そのことによる公園周辺への公園利活用に対する一定の周知も行うことができました。

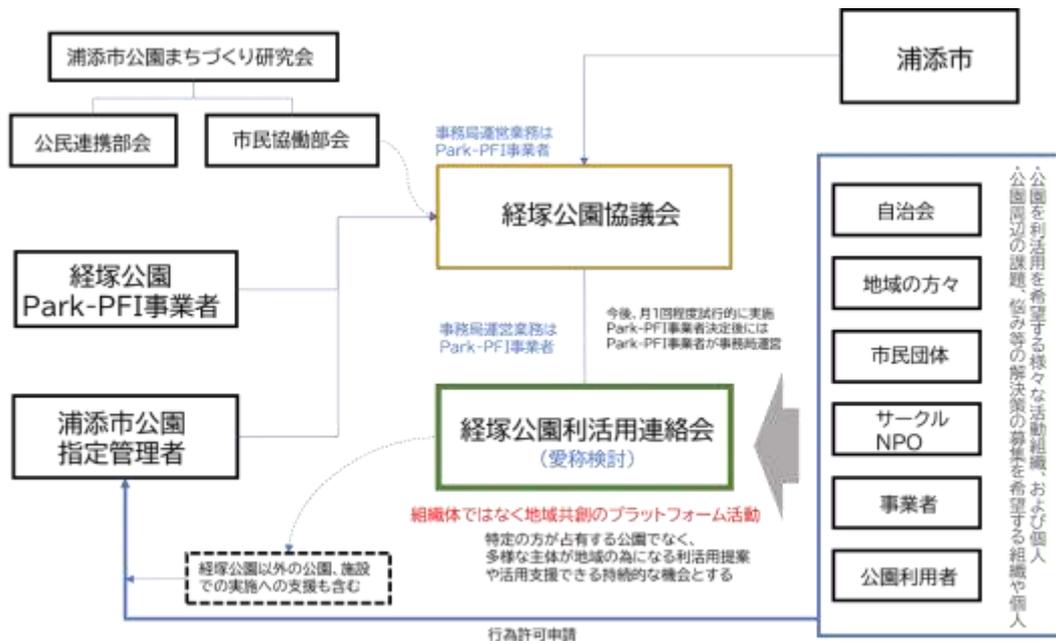
今年度に入り、4月に社会実験終了後の意見交換を行って以来、コロナの影響でリアルな会合は開催してきませんでした。今後は新たに形を変えて、「公園利活用連絡会」として公園の利活用を促進するための活動を進めて参ります。

※公園利活用連絡会の名称は、今後活動を進めていく中で変更する場合があります。

これまでの浦添市公園まちづくり研究会(2019(H31)～2021(R2)3月)



今後の浦添市公園まちづくり研究会(2021(R3)年4月～)



公園を核とした地域交流や地域活性化、にぎわい創出につながる活動の場を創ることで、地域にプライドを持てるまちづくりに繋げて行きたいと思えます。

<参考>

公園利活用連絡会は、公園活用に対して提案し合ったり、助け合ったりする場ですが、公園の方向性やアドバイスなどは、経塚公園利活用連絡会の状況、Park-PFI事業者の活動状況、公園全体の指定管理者の状況を相対的に把握しながら、専門的な見地を持つ有識者の会合「公園協議会」で決めていきます。

公園利活用連絡会とは

経塚公園利活用連絡会では、今までの市民協働部会や社会実験のための活動と異なり、固定メンバーとせず、公園を使いたい方が自由に活動提案を行い、仲間の募集や活動の連携、地域の皆さんとの共創を推進する場となります。あるいは地域の課題や悩みごとの発表をしていただき、公園を活用した解決の活動アイデアや協力者を募るような場となることも想定しています。メンバーの負担軽減となり、さらに多くの皆さまとの意見交換、多様な活用を促すことで、地域の皆さまに使われる、また地域活性化につながる活動となることを望んでいます。

経塚公園利活用連絡会は、様々な方の提案内容の実現に向けた場（実現のためにどうしたらよいかなど、知恵を出し合ったり協力をする場）であり、イメージとしては、組織体というよりは、地域共創のためのプラットフォーム（人々が集まって必要な活動を行う場）となります。法的、技術的に不可能なことなどは市や専門家がアドバイスを行うことがあります。公園に隣接する住宅地域の理解や協力関係などを含めて、皆さんで知恵を出し合い、解決をしていきます。

<参加対象者>

●公園を活用したい活動組織、個人、事業者の皆さま

プランの提案発表をしたり、活動のためのメンバー募集、連携先募集など、公園利活用のための情報提供や協力要請等を行うことができます。地域の課題、社会の課題など、身近で困っている内容を発表し、公園でできる解決策、チーム化などを目指すこともできます。

●公園での活動の情報を知りたい方、連携や協力、メンバーにご関心のある方など

提案内容の要望に応じて、課題解決のアドバイス、連携、協力を提案したり、メンバーになつたりすることができます。情報を知りたい、というだけでも参加可能です。

<開催のルール／進め方等>

沖縄都市モノレールでの浦添市に入る第一の公園として、浦添市の顔となる公園となるよう、様々な活動団体が提案でき、協力体制を構築できるような場とするために、試行的に以下のようなルールを設けます。

◆当日の連絡会を円滑に進めるためのルール

- ・提案を実現するための前向きな話し合いとしましょう。
- ・広く「みんなが使える公園」という意識を持ちましょう。
- ・近隣住民や地域ブランドを意識しましょう。
- ・経塚公園利活用連絡会では、進捗報告やアドバイス、連携を求めるための告知等を繰り返しご発表いただくことも歓迎いたします。
- ・当日の時間決定や役割分担等詳細についての打ち合わせは、基本的に提案者を中心に個別

で行うようにしましょう。ただし、皆さんの合意があれば、あるいは提案が複数存在しない時などは、一つのテーマに特化して詳細打ち合わせ、意見交換、協力募集等の機会を持つことなどは可能です。

・当日の名刺交換や、個別打ち合わせ等による連絡先の交換は、自分たちの責任において自由に行っていただくことが可能です。

◆決定内容を推進するためのルール

・イベント開催などにおける各種対応（書類申請、地域への挨拶等）は自分たちで行いましょう。

・公園内行為許可申請書(イベント等の利用に係る申請)

→市内全公園を包括管理する公園指定管理者へ提出

・公園占用許可申請書(イベント等の利用の際にテントや舞台等の工作物を設置する場合)

→浦添市役所 美らまち推進課(6階)

◆個別打ち合わせサポート

・詳細打ち合わせの場所は、空きがあれば市役所の会議室を使うことが可能な場合があります。

・公園利用のためのルール（申請書類、禁止事項）等は、公園指定管理者又は市へにお問い合わせください。

公園指定管理者：うらそえ公園管理協同企業体

（電話） 098-877-4922

浦添市役所 美らまち推進課(6階)

（担当） 親里・大竹

（電話） 098-876-1243 （メール） tyuramachi@city.urasoe.lg.jp

・個別打ち合わせで事務局参加を希望する際はご連絡をください。浦添市、もしくは新産業文化創出研究所のスタッフが入らせていただきます。（日程的に都合のつかない場合がございますが、できる限り支援させていただきたいと考えています。）

◆発表を希望される方

（仮称）経塚公園利活用連絡会（準備会）の開催1週間前までに、事務局（支援事業委託先：株式会社新産業文化創出研究所）にご連絡ください。

（担 当） 瀬川 真未

（電 話） 03-5297-8200 （メール） segawa@icic.jp

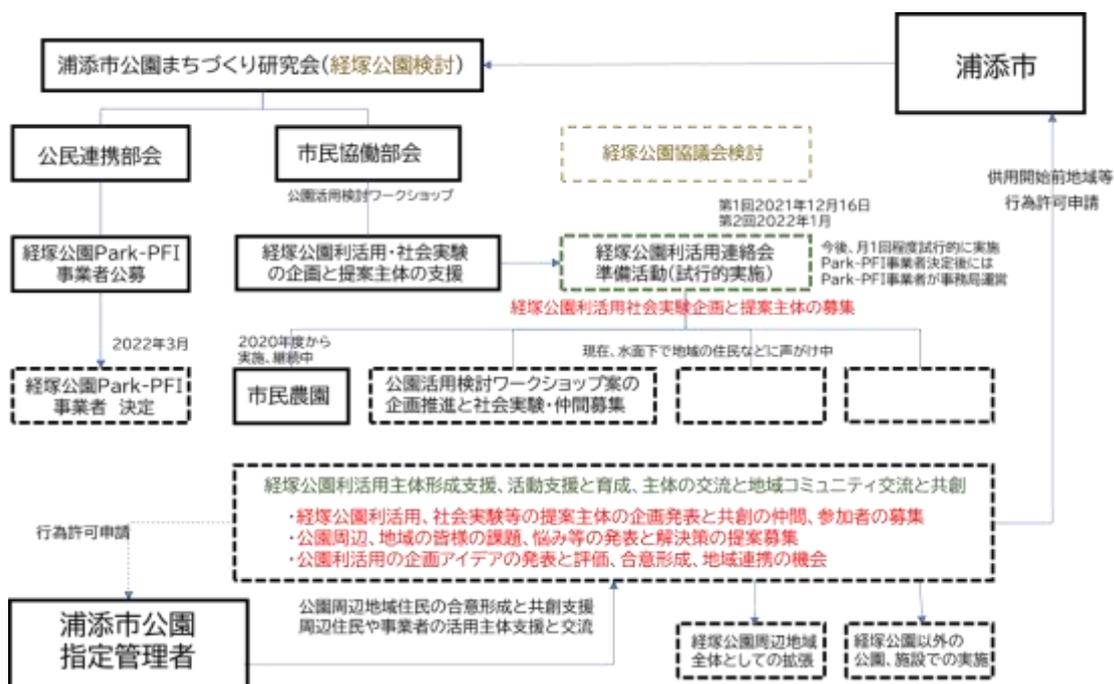
◆公園利活用者を増やすための協力

公園活用を希望される方、公園活用の仲間に加わりたい方などへ、積極的に呼びかけのご協力をお願いします。

経塚公園利活用の準備期間として

P-PFI 事業者による施設等整備・準備が整った後、その事業者が運営事務局となり、経塚公園利活用連絡会を定期的に開催いたしますが、それまでの間は試行的な期間、準備活動として浦添市が主催となり、本連絡会を進めていきます。経塚公園利活用の体制を形成していく準備期間でもあります。

試行的な取り組みとして、2021年12月16日に第1回公園利活用連絡会（準備活動）を行います。詳細は「第1回 経塚公園利活用連絡会（準備活動）開催のご案内」をご参照ください。



第1回 経塚公園利活用連絡会（準備活動）開催のご案内

同封いたしましたご案内の内容に基づき、第1回経塚公園利活用連絡会（準備活動）を下記の内容で開催いたします。

社会実験活動に有志（市民協働部会）でご参加いただいた皆様との意見交換、公園利活用にご関心のありそうな活動団体、事業者、施設運営者等との意見交換を行った結果、公園利活用の提案に対し、すでに多数の皆さまから手を挙げていただきました。第1回連絡会ではそれらの皆さまにご提案をいただきながら進めていきます。提案の実現に向けて、連携、協力、あるいはアイデア提供、アドバイスなどをしていただける方、あるいは公園利活用連絡会とはどのようなものかを知りたい方、公園を核としたまちづくりとして地域価値向上に貢献したい方など、広く参加者を募集いたします。公園利活用にご関心のある方、公園に隣接、あるいは近隣の皆さまにも是非ご参加いただきたく、お声かけなどの協力もいただけますと大変うれしく思います。

<概要>

日 時 2021年12月16日（木）19：00～21：00 （フリータイム21：15まで）
場 所 浦添市役所9階 講堂（18：45より入室可能となります。）

<進行プログラム>19：00～21：00 →フリータイム（15分程度）→解散

1. 浦添市 あいさつ（5分）

2. （仮称）経塚公園利活用連絡会について ICIC（15分）

3. 発表（発表5分）

①伊佐 亮 さん

「みんなで作り育てる経塚公園」

②仲本 絢音 さん 新垣 玲央 さん（琉球大学）

「浦添の魅力再発信フリーマーケット」

③松長 茂 さん

「地域の交流が始まる"My Collection（マイ コレクション）"展示 仲間募集！！」

<<質疑応答（10分）>>

④玉城 香子 さん

「公園イルミネーション あかりを持ち寄って、まちの輝きに！！」

⑤吉川 嘉朝 さん（社会福祉法人若竹福祉会）

「地域に根差したふれあい祭りの再開に向けて ～ 笑顔でつながる地域の輪 ～」

⑥宇根 良則 さん（沖縄県パイパーズ生産推進協議会）

「パイパーズを生かして SDGs 活動」

<<質疑応答（10分）>>

4. 発表者ブースごとの意見交換（40分程度）

発表者ごとにブースを作り、関心のある方が自由にブースを回りながら実現に向けた意見交換をします。

5. 事務連絡 浦添市（5分）

<<フリータイム（15分程度）>>